

大好き!
ふくしま



震災以降、何か東北のためにできることはないかと考えていたという渡邊さん。東北への移住に関しては特に不安はなく、期待の方が大きかったと言います。



移住してプラスに変わったことしかない
今後は白河市に恩返しをしていけたら

前職を退職後、新しい地で何か新しいことをやってみたいと思ったという渡邊さん。情報を集める中、地域おこし協力隊を知り、白河市の業務内容に興味を持ち応募しました。現在は移住を考えている人の相談やコーディネートにあたるほか、白河市への移住促進のため、インターネットでの広報も行っています。

「白河市は地域を盛り上げようと思っている人が多く、地元愛にあふれているまち。住みやすさや人の温かさなど、移住前の印象と比べてプラスに変わったことしかありません。今後はSNSでの発信のほか農業体験を行うなど、白河市を1人でも多くの人に知ってもらえる取り組みをしていきたい」と話します。協力隊の任期後は、お世話になったまちへ恩返しとなるような活動をしていけたらとすっかり白河市に魅了されていました。



相談者が求める情報の+αを伝えられるように心掛けています。

YouTube「白河に住みますチャンネル」の撮影で出会ったなすびさんとの1枚♪



YouTubeチャンネルもぜひご覧ください!



白河市
地域おこし協力隊
わたなべ ひでゆき
渡邊 秀幸さん
(千葉県出身)



体育館では、ドローンの実演を見学しました。

いわき市三和町の(株)東日本計算センター「ながとイノベーションセンター」を訪問しました。
ここでは、廃校となった永戸小学校を活用した施設で、ロボット・ドローンのソフトウェア開発や実証実験など、未来に向けたチャレンジが続けられています。
今後も、地域の皆さんと連携しながら、いわきの地から福島の新しい技術が生まれ、やがて世界を変えるイノベーションとなることを期待しています。

いわき市の「ロボット・ドローンの開発施設」を訪問しました。

